



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月27日

上場会社名 株式会社トリステージ 上場取引所 東
 コード番号 2178 URL <http://www.tri-stage.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 妹尾 勲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 野口 卓 TEL 03-5402-4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	27,763	12.5	667	100.7	667	96.8	363	114.7
25年2月期第3四半期	24,675	—	332	—	339	—	169	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 347百万円 (106.1%) 25年2月期第3四半期 168百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	48.90	48.71
25年2月期第3四半期	22.91	22.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	12,820	8,624	66.9
25年2月期	12,325	8,387	67.8

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 8,579百万円 25年2月期 8,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,026	9.5	834	67.9	803	59.6	418	68.5	56.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	7,603,500株	25年2月期	7,574,700株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	150,204株	25年2月期	150,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	7,442,379株	25年2月期3Q	7,398,643株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信（添付資料）P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は平成26年1月7日（火）に機関投資家向けに四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクが懸念されましたが、政府の経済対策や金融政策を背景として景気回復に対する期待感が醸成され、個人消費の持ち直しや企業の景況感に改善が見られる等、緩やかな回復基調にありました。一方、当社グループの顧客企業が属するダイレクトマーケティング市場は、通信販売の定着とともに拡大基調が続いております。

このような環境の下、当社グループはダイレクトマーケティング実施企業に対してバリューチェーンの各局面で最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、中期的な成長戦略として位置付けた「WEBビジネスの推進」、「CRMビジネスの推進」、「国際ビジネスの推進」を推し進めるべく、社内体制を整えるとともに、外部との連携を含めた基盤づくりに取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は27,763,129千円（前年同期比12.5%増）、売上総利益は2,275,614千円（前年同期比10.8%増）となりました。販売費及び一般管理費は、主に貸倒引当金が前年同期に比較し大幅に減少した結果、1,608,243千円（前年同期比6.6%減）となり、営業利益は667,371千円（前年同期比100.7%増）、経常利益は667,698千円（前年同期比96.8%増）、四半期純利益は363,903千円（前年同期比114.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①ダイレクトマーケティング支援事業

ダイレクトマーケティング支援事業については、収益性の低い取引の見直し及び仕入コスト削減等により収益性改善に努めました。一方、「新業種・新領域顧客企業の発掘と育成」に取り組み、上半期において会員誘導型の取引が好調に推移いたしました。しかしながら、現状の会員誘導型の取引には季節性があり、当第3四半期会計期間においては減少しております。また、既存の大手顧客企業の出稿量が減少しており、収益性が低迷しております。

WEBビジネスにおいては、6月に設立した株式会社トライズデジタルベースにて、インターネット広告支援を開始し、顧客企業の獲得に取り組んでおります。

国際ビジネスにおいては、ベトナム、台湾に続き、9月にマレーシアでの通販支援を開始いたしました。

この結果、売上高は22,145,375千円（前年同期比5.3%減）、営業利益は694,099千円（前年同期比101.9%増）となりました。

②ダイレクトメール発送代行事業

ダイレクトメール発送代行事業については、メールカスタマーセンター株式会社において、「ゆうメール」及び「メール便」の取扱通数の規模を活かした安定した仕入の下、顧客企業からの受注が好調に推移いたしました。前期は連結対象期間が2ヵ月間であるのに対し、当期は9ヵ月間が寄与したことから、売上高は5,640,306千円（前年同期比333.8%増）、営業損失は26,729千円（前年同期は11,255千円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ495,402千円増加し、12,820,649千円となりました。

これは、主に有価証券が1,200,030千円増加した一方、現金及び預金が669,522千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ258,425千円増加し、4,196,156千円となりました。

これは、主に短期借入金114,596千円、賞与引当金119,997千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ236,976千円増加し、8,624,492千円となりました。

これは、主に四半期純利益が363,903千円となった一方、剰余金の配当148,489千円を支払ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年3月29日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,849,114	6,179,592
受取手形及び売掛金	4,153,762	4,153,142
有価証券	200,000	1,400,030
商品	145	2,068
仕掛品	301	711
貯蔵品	4,397	5,386
その他	101,143	140,395
貸倒引当金	△89,325	△93,611
流動資産合計	11,219,539	11,787,714
固定資産		
有形固定資産	111,248	73,294
無形固定資産		
のれん	446,215	371,398
その他	74,120	56,258
無形固定資産合計	520,335	427,656
投資その他の資産		
破産更生債権等	437,589	449,348
その他	474,122	531,983
貸倒引当金	△437,589	△449,348
投資その他の資産合計	474,122	531,983
固定資産合計	1,105,707	1,032,934
資産合計	12,325,246	12,820,649
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,041,636	3,104,166
短期借入金	204,708	319,304
1年内償還予定の社債	14,000	—
未払法人税等	12,003	78,417
賞与引当金	1,815	121,813
資産除去債務	—	28,360
その他	292,138	214,284
流動負債合計	3,566,302	3,866,345
固定負債		
長期借入金	277,671	249,354
退職給付引当金	53,659	55,456
資産除去債務	40,097	—
その他	—	25,000
固定負債合計	371,428	329,810
負債合計	3,937,730	4,196,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	638,499	642,556
資本剰余金	628,499	632,556
利益剰余金	7,237,314	7,452,727
自己株式	△148,133	△148,133
株主資本合計	8,356,180	8,579,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	18
その他の包括利益累計額合計	—	18
少数株主持分	31,335	44,766
純資産合計	8,387,515	8,624,492
負債純資産合計	12,325,246	12,820,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	24,675,269	27,763,129
売上原価	22,621,560	25,487,515
売上総利益	2,053,709	2,275,614
販売費及び一般管理費	1,721,187	1,608,243
営業利益	332,521	667,371
営業外収益		
受取利息	6,236	5,151
助成金収入	1,750	—
その他	475	1,060
営業外収益合計	8,461	6,211
営業外費用		
支払利息	1,598	5,005
その他	86	878
営業外費用合計	1,684	5,883
経常利益	339,298	667,698
特別損失		
固定資産売却損	—	34
固定資産除却損	19	3,044
減損損失	—	8,217
本社移転費用	—	28,369
特別損失合計	19	39,666
税金等調整前四半期純利益	339,279	628,032
法人税、住民税及び事業税	351,506	286,923
法人税等調整額	△181,016	△6,825
法人税等合計	170,489	280,097
少数株主損益調整前四半期純利益	168,789	347,934
少数株主損失(△)	△677	△15,968
四半期純利益	169,467	363,903

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,789	347,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	18
その他の包括利益合計	—	18
四半期包括利益	168,789	347,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,467	363,921
少数株主に係る四半期包括利益	△677	△15,968

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ダイレクトマーケティング支援事業	ダイレクトメール発送代行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,375,071	1,300,198	24,675,269	—	24,675,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,375,071	1,300,198	24,675,269	—	24,675,269
セグメント利益又は損失(△)	343,777	△11,255	332,521	—	332,521

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書計上額の差額及び当該差額の主な内容(差額調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成24年11月21日付でメールカスタマーセンター株式会社の株式50.2%を取得し、同社及びその子会社である株式会社ディーピーシーを連結子会社化したことにより、ダイレクトメール発送代行事業において、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるダイレクトメール発送代行事業ののれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、488,280千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ダイレクトマーケティング支援事業	ダイレクトメール発送代行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,145,375	5,617,754	27,763,129	—	27,763,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,552	22,552	△22,552	—
計	22,145,375	5,640,306	27,785,682	△22,552	27,763,129
セグメント利益又は損失(△)	694,099	△26,729	667,369	1	667,371

(注) セグメント利益の調整額は、貸倒引当金繰入額の調整額1千円が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ダイレクトマーケティング支援事業において、本社移転に伴う減損損失を27,955千円計上しております。
なお、当該減損損失は、連結損益計算書上、特別損失の「本社移転費用」に含めて表示しております。

ダイレクトメール発送代行事業において、本社移転に伴う減損損失を413千円計上しております。なお、当該減損損失は、連結損益計算書上、特別損失の「本社移転費用」に含めて表示しております。また、固定資産及びソフトウェアの減損損失を8,217千円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。